

きのかわ支援学校第3回学校運営協議会

- 1 日時 令和7年2月18日(火) 10時00分～11時30分
- 2 場所 きのかわ支援学校 会議室
- 3 参加者 きのかわ支援学校 学校運営協議会委員 7名
- 4 協議・報告の内容

〈取組に関する評価について協議〉

はじめに、地域との連携や協働活動について、高野ロマルシェの取組や居住地校交流、学校間交流などの「交流及び共同学習」を踏まえて、今年度の取組についての報告と今後の改善方策等について協議を行いました。

交流及び共同学習は、交流の側面（豊かな人間性を育むことを目的としたもの）と共同学習の側面（教科等のねらいの達成を目的としたもの）がありますが、今年度から高等部がスタートした伊都中央高等学校との学校間交流では、お互いに教科等に位置づけた共同学習となります。年間15回の取組を進めていく中で、実際の授業の評価や日常生活における生徒の変化等、取組の成果を報告し、取組についてのご意見をいただきました。委員からは、次年度についても共同学習の取組を進めてほしいとのご意見をいただきました。



2点目として、つけたい力を基にした授業作りでは、授業づくりにおける改善点と併せて本校の進路指導の取組とも併せて説明しました。各教科等の取組を通じて、学習指導要領に示された目標を達成することはもちろんですが、本校のつけたい力を育むためには、生徒自身が自分の進路等について選択・決定することができる力を高めるなど、キャリア教育の視点からもさらなる充実を図る必要性があること等について、ご意見をいただきました。

3点目としては、安心・安全な学校づくりとして、人権が尊重される学校づくりなど、教員の人権意識を高めるためのチェックシートの活用等の取組について報告し、ご意見をいただきました。学校マルトリートメントを踏まえた取組などについては、教職員が注意すべき点を意識するだけでなく、教職員の姿勢等の中で、こどもに対する良い関わりなどのプラスの面についても校内に発信し、教職員間で共有することが重要であることとのご意見をいただきました。

最後に、今年度の反省も踏まえて、令和7年度の取組の方向性について説明し、ご意見をいただきました。教職員の個々の頑張りをより組織的な取組として高めていくために留意すべき点など、働き方改革の視点も踏まえたご意見をいただきました。

いただいたご意見等を踏まえ、次年度の取組に活かすため、反省等の中で協議をしてまいります。